

令和6年度 事業報告

一般社団法人草薙カルテッド
令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

一般社団法人草薙カルテッド

一般社団法人草薙カルテッドは、平成29年2月に地元自治会や商店会メンバーを中心に設立された、地域主体のエリアマネジメント団体です。草薙駅周辺のまちづくりに関して、平成26年に発足した「草薙駅周辺まちづくり検討会議」、平成27年に策定された「草薙駅周辺まちづくりビジョン」を礎に、草薙地区における産学官民の連携を促進し、賑わい、魅力度、住みやすさの向上、地域課題の解決といったまちづくり活動の相乗効果を生み出すことを目指しています。また、住民・商業者・来街者等に価値あるサービスを提供することを目的に、行政、周辺企業、大学等と連携しながら、駅前広場や公共施設の利活用、各種イベントの企画・実施、地域コミュニティの形成に取り組んできました。

平成30年6月には県下初となる「都市再生推進法人」に指定され、令和元年7月には静岡市と「都市利便増進協定」を締結。令和3年4月には「コラボレーションスペースTakt」を設置し、地域内外の人材交流や活動拠点として運営を開始しました。さらに、令和5年11月には静岡県公立大学法人と「有度・草薙地域まちづくり協創協定書」を締結、令和6年3月には「有度/草薙みらいビジョン-2034-」が策定され、新たなまちづくり指針のもと、さらなる活動の広がりを目指しています。



すべてが心躍るまち



人だけでなく、建物や植栽、ペットなど、まちを形作るすべてのものが心躍り、心健やかで、心穏やかに暮らせるような有度・草薙を目指します

—— まちづくりの方針 ——

自然豊かでにぎわいがあるまち



- 駅前を中心に都市的な環境と商業的なにぎわいがある心躍るまちを目指します。
- 有度地区全体で移動しやすく暮らしやすい心躍るまちを目指します。
- 地域を形成する多様な緑が、人々の身近な暮らしや生き物の住処に活かされ、地域の風景としてつながる心躍るまちを目指します。



伝統文化が続き、進化するまち

- 地域の歴史と伝統文化や資源を地域ぐるみで温め継承していくまちを目指します。
- 地域の持続可能な運営の仕組み作り、イノベーションや新たな挑戦を通じた心躍るまちを目指します。
- 八百万の地域資源を大切に守り、次の世代に継承するまちを目指します。



学びや創造が生まれるまち

- 教育機関が集積する地域特性を活かし、産学官民の協働など、このまちでしか得られない学びと創造の機会を地域ぐるみで提供していく心躍るまちを目指します。
- 有度・草薙らしさのある文化芸術を学び創造する体験を通じた心躍るまちを目指します。

誰もが心身ともに幸せなまち

- 心身の健康の支えとなるような自然豊かで生き生きとした快適な環境があるまちを目指します。
- 福祉や介護の支援が充実するだけでなく、誰もが取り残されず、誰もが受け入れられ活躍できるような心躍るまちを目指します。
- 誰もがつながり、孤立せず心健やかに暮らせるようなまちを目指します。



互いに支え合い、安全に心地よく暮らせるまち

- 落ち着いた住環境と、挨拶が行き交うコミュニティに守られて心穏やかで安全安心に暮らせるまちを目指します。
- 福祉や子育て、身近な生活環境の維持管理、共助など、日常も非日常も共に助け合うまちを目指します。

～TOPICS～

①ロゴリニューアル



草薙カルテッド

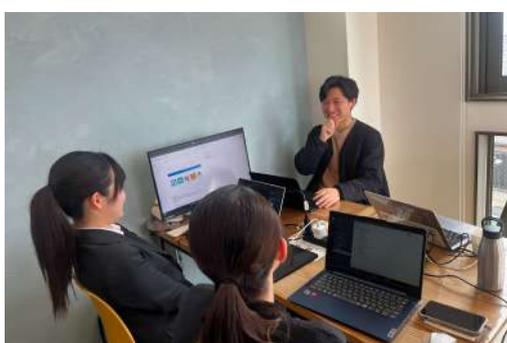
草薙カルテッドでは、「有度／草薙みらいビジョン-2034-」の実現に向けて、地域内外とのさらなる連携を目指す象徴として、令和6年より団体ロゴをリニューアルしました。今回のロゴデザインは、常葉大学造形学部・村井ゼミの学生の皆さんにご協力いただき、コンペ形式で作品を募集。多様な視点から提案されたデザイン案の中から、最終的に採用されたロゴに決定しました。

この新ロゴを通じて、草薙カルテッドの活動や理念をより広くわかりやすく伝え、まちづくりのパートナーとして多くの人とつながっていただけるよう、今後も取り組みを進めてまいります。

<ロゴの由来>

- ・産学官民の連携を表す4色
- ・草薙の山々が重なる様子をイメージし、扇形を連ねたデザインに
- ・草薙の地で日々交わる人々の姿を重ね、「つながり」や「交差」を象徴的に表現

②地域おこし協力隊受け入れ



3月1日より、草薙駅周辺地区に地域おこし協力隊として大森遊音（ゆおん）さんを迎えました。前職では埼玉県川口市役所・スポーツ課に勤務し、地域イベントや行事の企画・運営に携わってきた経験を持っています。今後は、草薙地域において賑わいづくり、福祉との連携、学生とのコラボレーションなど多分野での活躍が期待されます。草薙カルテッドは受入れ団体として、大森さんが力を発揮しやすい環境づくりを支援してまいります。

【1】自然豊かでのぎわいがあるまちを目指した事業

①高架下空間の活用“みんなでかこう くさなぎえきまえアートイベント”



12月1日、JR草薙駅北口・高架下スペースにて、こどもたちが自由に絵を描く「みんなでかこう／くさなぎえきまえアートイベント」を開催しました。無断駐輪が課題となっていた高架下空間を、地域に開かれた楽しい空間へと転換する試みとして、小中学生約50名が参加しました。にぎやかな雰囲気の中で駅前空間の新たな可能性を体感する場となりました。JR草薙駅北口芝生広場で同時開催された『愛・草薙祭』とも連動し、相乗効果を生み出しました。

主催：草薙カルテッド 共催：静岡市、草薙商店会 協力：JR東海

②くさなぎ夏フェス冬フェス共催



8月24日・12月14日、駅前広場および商店街通りを会場に「つながるくさなぎフェス」が開催されました。夏はストリートライブやオープンテラスなどでにぎわい、冬はマグロ解体ショーや餅まきなど、季節ごとの催しで地域を盛り上げました。

主催：草薙商店会 共催：草薙カルテッド

③JR草薙駅前広場の運営管理



静岡市との都市利便増進協定に基づき、JR草薙駅北口芝生広場・南口イベント広場の運営管理を行いました。キッチンカー出店、ビアガーデン、もちつき大会、屋台村（10日間連続開催）、マルシェ、モルック大会など、多様なイベントが行われ、地域住民や来街者に親しまれました。

【2】 伝統文化が続き、進化するまちを目指した事業

① KUSANAGIぐるめぐりスタンプラリー



2月10日～3月9日の期間、静岡県立美術館と草薙商店会の連携企画として、草薙地区の飲食店をめぐる「KUSANAGIぐるめぐりスタンプラリー」が実施され、草薙カルテッドが運営を担いました。参加者は対象店舗での購入を通じてスタンプを集め、アンケート回答と引き換えに景品が当たる仕組みで、地域の食の魅力のPRと店舗回遊、美術館への来場を促進しました。

主催：静岡県立美術館 協力：草薙商店会 運営：草薙カルテッド

② 私のあ！が見つかる講座



「私のあ！が見つかる講座」（全11回）を静岡県立大学と連携して開催しました。多様な講師との出会いから「気づき＝あ！」を得ることを目的とした講座です。講師の選定には学生と社会人が協働で関わり、自由参加型の形式を採用し、多様な価値観に触れる学びの場となりました。

主催：静岡県立大学 事務局 教育研究推進部 地域・産学連携推進室 運営：草薙カルテッド

③ 草薙の神話とまちづくり実行委員会 参加



令和5年の草薙神社創建1900年祭開催を機に、草薙神社や歴史文化を重要な地域資源と捉え、新たなまちづくりの実行委員会が立ち上がりました。草薙カルテッドも実行委員会に参加し、お祭りの開催等の取組みに参画しました。

【3】学びや創造が生まれるまちを目指した事業

① コラボレーションスペースTakt



コラボレーションスペースTaktは、令和3年4月に民設民営で立ち上げた施設です。学生・企業・地域住民・行政など多様な利用者が集い、利用者同士のつながりが自然に生まれる場となっています。運営には大学生も参画しており、人とのつながりや学生と社会人の視点を活かしながら、誰もが「やってみたい」「応援したい」を実現できる場づくりを進めています。

② 学生視点でつくる／学生・企業・地域をつなぐ力を身につけよう講座



学生が地域や企業と関わる中で感じた課題をもとに、学びたいテーマや話を聞きたい相手を自ら選び企画した連続講座です。コラボレーションスペースTaktを拠点に、学生と社会人の双方が参加できる形式で、全5回開催しました。実践的なスキルやノウハウ、地域での事例を通じて「つながる力」を育む機会となりました。

③ 青春18きっぷクラウドファンディング



学生に様々な体験を得てほしいという思いから、焼津市でこども・若者の居場所として運営されている「みんなの公民館まる」との共同企画として、青春18きっぷを提供するファンドを実施しました。草薙カルテッドでは、青春18きっぷを支援する大人を募集し、10名分の目標を達成。令和6年9月には参加学生の報告会も開催されました。

【4】誰もが心身ともに幸せなまちを目指した事業

①ミックスマーケット



11月4日に吉川南公園にて、福祉の当事者や専門職と、福祉に関わりが無い人が共につくり共に楽しむマルシェ「ミックスマーケット」を開催しました。運営・参加者どちらも様々な属性の方に参加いただきました。

主催：有度ごちゃまぜプロジェクト 共催：有度地区社会福祉協議会、草薙カルテッド
協力：有度地区まちづくり推進委員会、有度地区保健委員会、吉川自治会、グループホームたみの里、株式会社タキ商事

②シニア向け講座の開催



静岡市、静岡県立大学と協働でシニア向け講座を開催しました。

10月21日 「スマホアプリ活用セミナー」

1月24日 「声から元気に！」

3月10日 「背筋を伸ばして！」

③しずおかちゃちゃちゃとの連携



静岡市が進める介護予防の新たな取り組み「しずおかちゃちゃちゃ」の一環として、草薙地区でも関連イベントが開催されました。12月14日には冬フェス内でのブース出展と健康セミナー、さらに2月～3月には「こだわりのコーヒー教室」が開催され、草薙カルテッドも運営に協力しました。

【5】互いに支え合い、安全に心地よく暮らせるまちを目指した事業

①有度ごちゃませプロジェクト発足



年齢・性別・障害の有無・国籍などの違いに関わらず、誰もが地域コミュニティに参画でき、しあわせに暮らすことができる”ごちゃませなまち”を、様々な企業・団体・人々との連携によって実現するプロジェクト「有度ごちゃませプロジェクト」を立ち上げました。有度地区の福祉関係者を中心に呼びかけ、福祉事業所や、専門職、地域住民、学生など25名がプロジェクトメンバーとして参画してくださいました。

3月7日には、静岡県立大学と協働で、有度地区の福祉的課題を多様な世代・属性の参加者と一緒に考える場「有度ごちゃませサロン」を開催しました。

（有度ごちゃませサロン 主催：静岡県立大学「ふじのくに」みらい共育センター
運営：草薙カルテッド 協力：Enknock）

②おもちゃ・子ども服交換会



地域の子ども・保護者をターゲットに、まだ使えるけれど不要になったおもちゃ・子ども服の交換会を行いました。100名以上が参加しました。

③防犯自動販売機の運用



ダイドードリンコ株式会社、ふじのくに未来財団、静岡県警と連携し、JR草薙駅北口芝生広場にて防犯カメラつき自販機を運用しています。令和6年度は新たに、草薙スポーツ広場にも自販機を設置しました。

■ 情報発信

①JR草薙駅南北自由通路における広告事業



草薙カルテッドでは、JR草薙駅の南北自由通路における広告運用を、「都市利便増進協定」に基づき実施しています。駅構内の変圧器を活用した企業広告や、大学生が企画・制作に関わる広告など、多様な表現や連携のかたちで展開しており、駅を訪れる人々の目を引く地域発の広告媒体として、徐々に認知と定着が進んでいます。こうした広告運用による収益の一部は、草薙地区のまちづくり活動に活用されています。公共性の高い駅空間を活かしながら、地域と企業、大学が連携し、持続的な地域活性化につなげるモデルとして、今後も展開を広げていく予定です。

②HELLOくさなぎの発行



有度地区まちづくり推進委員会と協働で、地域情報を発信するフリーペーパー「HELLOくさなぎ」を定期発行しています。配布対象は有度地区の自治会加入世帯全戸で、コラボレーションスペースTaktでも配架しています。令和6年度にはNo.13、14を発行しました。No.13では「有度/草薙みらいビジョン-2034-」の完成報告や地域イベント（夏フェス・体育大会等）を特集し、No.14では内容を刷新し、有度地区の避難所に関する特集を掲載しました。

■ 視察・講演

月	日	曜日	内容
5	9	木	静岡サレジオ小学校 まちづくり講座 登壇
5	14	火	常葉橘高等学校TPRプロジェクト フィールドワーク受け入れ
5	23	木	有度第二小学校4年生総合学習「みんなニコニコ有度のまち」登壇
5	24	金	静岡県立静岡東高等学校 職業講話 登壇
6	25	火	静岡県立大学経営情報学部スタートアップ演習 登壇
7	4	木	有度第二小学校4年生総合学習「みんなニコニコ有度のまち」登壇2回目
7	9	火	有度第二小学校6年生総合学習登壇
8	14	水	フィールドワーク受け入れ (静岡県立静岡東高等学校、静岡市立高等学校)
10	7	月	清水西高校 職業講話
11	13	水	静岡県立大学講義「静岡の市民活動」登壇
11	27	水	地域問題研究所 市町村ゼミナール 登壇
11	28	木	都市再生推進法人会議 登壇
12	18	水	神奈川県再開発促進研究協議会 視察受け入れ
12	20	金	岡山NPOセンター 視察受け入れ
3	7	金	有度地区地域包括支援センター主催 有度地区ケアマネ連絡会 登壇
3	14	金	静岡県協働視察勉強会 登壇 (受け入れ)
3	16	日	まちのためにできることを一緒に考えよう 登壇
3	27	木	浜松まちなかにぎわい協議会 視察受け入れ



令和6年度賛助団体

71社の企業様に応援をいただきました。ありがとうございます。

